

社会資本総合整備計画 事後評価書																				
計画の名称	安全・安心な暮らしを支える道路管理〈第2期〉（防災・安全）																			
計画の期間	平成30年度 ～ 令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○								
交付対象	千葉市																			
計画の目標	市民が安全・安心に使用できる道路の機能確保を目標に、道路施設の適確な老朽化対策・地震対策をより一層推進する。																			
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		5,687		A	5,687		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		R2末
1	橋梁等道路施設の長寿命化率及び橋梁の耐震化の向上。			
	耐震補強が必要な道路橋の改善率 （橋梁の耐震化率）＝（耐震補強を実施した橋梁数）／（耐震補強が必要な橋梁数 136橋）	98%	%	100%
2	橋梁等道路施設の長寿命化率及び橋梁の耐震化の向上。			
	老朽化の進んだ橋梁の長寿命化率 （橋梁の長寿命化率）＝（補修を実施した橋梁数）／（長寿命化修繕計画における長寿命型橋梁数 321橋）	55%	%	63%
3	橋梁等道路施設の長寿命化率及び橋梁の耐震化の向上。			
	個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定率 （個別施設計画の策定率）＝（個別施設計画数）／（対象施設：橋梁、トンネル、横断歩道橋、門型標識、大型カルバート）	40%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	△	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	都道府 県道	修繕	橋梁長寿命化事業（県道 ）	補修 4橋（橋長15m以上）	千葉市	■	■				201		策定済
	A01-002	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	市町村 道	修繕	橋梁長寿命化事業（市道 ）	補修 21橋（橋長15m以上）	千葉市	■	■				998		策定済
	A01-003	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	市町村 道	修繕	橋梁長寿命化事業（市道 ）	補修 2橋（橋長15m未満）	千葉市	■	■				113		策定済
	A01-004	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	市町村 道	修繕	橋梁長寿命化事業（市道 ）	補修・耐震補強・跨線橋 2橋 （橋長15m以上）	千葉市	■	■	■			968		策定済
	A01-005	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	市町村 道	修繕	橋梁長寿命化事業（市道 ）	補修・耐震補強・跨川橋 2橋 （橋長15m以上）	千葉市	■	■				1,035		策定済
A01-006	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	都道府 県道	修繕	歩道橋長寿命化事業（県 道）	橋梁補修 2橋	千葉市	■	■				19		策定済	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	市町村 道	修繕	歩道橋長寿命化事業（市 道）	橋梁補修 19橋	千葉県	■	■				144		策定済
	A01-008	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	修繕	モノレール長寿命化事業	橋梁補修 L=2.0km	千葉県	■	■				1,188		策定済
	A01-009	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	修繕	橋梁点検	橋梁点検 539橋	千葉県	■	■				325		策定済
	A01-010	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	修繕	歩道橋点検	歩道橋点検 74橋	千葉県	■	■				50		策定済
	A01-011	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	修繕	モノレール橋梁点検	モノレール橋梁点検 15.4km	千葉県	■	■				77		策定済
	A01-012	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	修繕	トンネル等点検	トンネル等 18箇所	千葉県	■					10		未策定
	A01-013	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府 県道	改築	（主）千葉大網線ほか2路 線	電線共同溝 L=1.6km	千葉県	■					72		－
	A01-014	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	改築	（国）国道14号	電線共同溝 L=0.2km	千葉県	■	■	■			61		策定済

A 基幹事業																								
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況					
																	H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																						
道路事業	A01-015	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	市町村 道	改築	（１）中瀬幕張町線	電線共同溝 L=0.7km	千葉市	■	■	■			397		策定済					
	A01-016	道路	一般	千葉市	直接	千葉市	国道	修繕	歩道橋長寿命化事業（国 道）	橋梁補修 1橋	千葉市		■				29		策定済					
											小計						5,687							
											合計						5,687							

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
交付対象の各要素事業等について事後評価を行い、計画全体の評価を行ったうえで市民に公表する。 公表期間は2週間とし、意見があった場合は市から回答する。	令和6年9月
	公表の方法 道路計画課ホームページでの公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【指標1】 地震時の交通確保のため、本市の交通ネットワークにおける重要路線の橋梁について耐震補強を行ったことにより、災害時における安全性が向上した。 【指標2】 老朽化橋梁の長寿命化については、個別施設計画に基づき計画的に補修を行ったことにより、橋梁の長寿命化が図られた。令和2年度以降は、新たに創設された『道路メンテナンス事業補助制度』を活用し、引き続き橋梁の老朽化対策を推進していく。 【指標3】 道路施設に関する個別施設計画については、順次策定を行い、令和2年度末に全ての計画策定が完了した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	橋梁・歩道橋点検、トンネル点検等を実施し、施設の状況を的確に把握することで、道路ストックの維持管理をより効果的に実施し、道路環境の安全性・信頼性を確保した。

○特記事項（今後の方針等）

橋梁の長寿命化及び無電柱化推進事業については、令和2年度に新たに創設された『道路メンテナンス事業費補助制度』『無電柱化推進計画事業補助制度』へ移行し、より重点的な支援を受けながら事業を進めていくこととした。
令和2年度以降も『千葉市橋梁長寿命化修繕計画』『千葉市無電柱化推進計画』に基づき補助制度を活用して、市民が安全・安心に利用できる道路の機能確保を目標に、道路施設の適確な老朽化対策・地震対策をより一層推進する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	計画的に耐震補強を行ったことにより、目標値を達成した。
	最 終 実績値	100%	
2			
	最 終 目標値	63%	橋梁の長寿命化事業は、個別施設計画に基づき計画的に補修を行ったことにより、目標値を達成した。 令和2年度以降は、『道路メンテナンス事業補助制度』を活用し、より重点的な支援を受けながら事業を推進する。
	最 終 実績値	63%	
3			
	最 終 目標値	100%	道路施設に関する全ての個別施設計画を策定し、目標値を達成した。
	最 終 実績値	100%	

(参考様式)

社会資本総合整備計画 参考図面

